



## 2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月14日

上場会社名 株式会社エディア 上場取引所 東  
 コード番号 3935 URL http://www.edia.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)賀島義成  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務人事部長 (氏名)米山伸明 (TEL)03(5210)5801  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日~2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	611	4.0	25	—	23	—	23	—
2021年2月期第1四半期	587	△7.1	△2	—	△6	—	△20	—

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 23百万円 ( —%) 2021年2月期第1四半期 △20百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	3.85	3.72
2021年2月期第1四半期	△3.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	1,643	782	47.6
2021年2月期	1,689	758	44.9

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 782百万円 2021年2月期 758百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

2022年2月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。当該理由は、添付資料P3、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年2月期1Q	6,119,600株	2021年2月期	6,119,600株
2022年2月期1Q	96株	2021年2月期	96株
2022年2月期1Q	6,119,504株	2021年2月期1Q	6,059,504株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境におきましては、2019年におけるモバイルコンテンツ市場は2兆3,378億円（対前年比105%）、中でもスマートフォン市場は2兆3,097億円（対前年比106%）と年々成長を続けております。スマートフォン市場の内、ゲーム市場が1兆4,011億円（対前年比99%）、電子書籍市場が3,285億円（対前年比122%）、動画・エンターテインメント市場が2,512億円（対前年比124%）、音楽コンテンツ市場も1,403億円（対前年比112%）とゲーム市場は若干の減少に転じたものの、その他電子書籍市場、動画・エンターテインメント市場、音楽コンテンツ市場は拡大傾向にあります（一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ、2020年7月現在）。一方で、当該ゲーム市場には多くのスマートフォンゲームが投入され、競争が激化しており、より高品質のゲームを投入するために開発費が増加する傾向にあります。また、電子書籍市場においても、インターネット上の小説等をコンテンツ化するビジネスモデルに多くの競合他社が参入しており、その作品確保の競争が激化しています。さらに、動画・エンターテインメント市場及び音楽コンテンツ市場においても、消費者ニーズの多様化に伴う構造変化に晒されています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大についても依然として予断を許さない状況であり、先行きの不透明感は払拭できていない状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは総合エンターテインメント企業として、エンタメIPの創出・取得とそれらのクロスメディア展開を加速させ、事業の多角化と収益力向上に注力して参りました。

当第1四半期累計期間のIP事業におきましては、AppStore、Google Play向け本格ナビゲーションアプリ『MAPLUS+キャラdeナビ』において、アニメ「ゆるキャン△SEASON2」から「大垣千明&犬山あおい」のキャラチェンジセットを追加するなど、コロナ禍においても厳選した人気IPとのコラボレーションを進め、着実に収益を積み上げております。また、当社保有のレトロゲームタイトル「対決!! プラスナンバーズ」がNintendo Switch Onlineで配信されライセンスアウトによる収益の獲得も進んでおります。さらに、オリジナルドラマCD女性向けCDレーベル「MintLip（ミントリップ）」より『DIG-ROCK（ディグロック）』シリーズが引き続き人気を博し、CD販売に加えグッズ販売が好調を維持しております。グッズにおいては、オンラインくじサービスの『くじコレ』が好調で、新たに女性顧客向けサービスとして『まるくじ』の販売を開始し、当社グループの収益に貢献いたしました。

出版事業におきましては、『レベル1の最強賢者～呪いで最下級魔法しか使えないけど、神の勘違いで無限の魔力を手に入れ最強に～』など人気ライトノベルシリーズの続編の刊行や、人気シリーズ『姉が剣聖で妹が賢者で』のコミカライズ、新たに立ち上げたコミックレーベル「マンガBANGコミックス」より、『異世界の戦士として国に招かれたけど、断って兵士から始める事にした2』など着実に作品数を増やし、電子書籍販売においても作品数が増加したことに伴い、前期に引き続き大きく躍進しております。

BtoB事業におきましては、他社のゲームサービスのローカライズ及び運営受託、音楽制作受託、法人向け各種コンテンツ制作受託など堅調に推移いたしました。

以上の通り、IP事業におけるドラマCDやグッズ販売、BtoB事業における受託案件が好調に推移し、また、出版事業における作品数拡大により電子書籍売上が大きく伸長したことでストックビジネスが加速し利益率が上がった結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は611,289千円（前年同四半期4.0%増）、営業利益は25,708千円（前年同四半期は2,359千円の営業損失）、経常利益は23,763千円（前年同四半期は6,436千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は23,595千円（前年同四半期は20,433千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

なお、当社グループはエンターテインメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、当第1四半期連結累計期間より当社グループの各サービス内容を以下のように区分しております。

サービス区分	主なサービス
IP事業	ゲームサービス ゲームアプリケーションの企画、開発、運営 ライブエンターテインメントサービス モバイル向け実用サービスコンテンツやアプリケーションの企画、開発、提供 音楽レーベルサービス ゲームやアニメ関連の音楽、ドラマCDの企画、制作、販売、配信 グッズサービス アニメやゲーム関連のグッズ等の制作、販売 IPのライセンスアウト
出版事業	ライトノベル、コミック等の出版物及び電子書籍の企画、編集、出版
BtoB事業	受託開発・運用、システム・アプリ開発、漫画動画の制作

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,643,267千円となり、前連結会計年度末に比べ46,448千円の減少となりました。これは主に現金及び預金が増加したものの、売掛金が減少したことによるものであります。

負債合計は860,738千円となり、前連結会計年度末に比べ70,044千円の減少となりました。これは主に買掛金が増加した一方、未払金や借入金が増加したことによるものであります。また、純資産合計は782,528千円となり、前連結会計年度末に比べ23,595千円の増加となりました。これは主に当第1四半期連結累計期間が四半期純利益となり利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現段階において新型コロナウイルス感染症による当社グループへ及ぼす影響を合理的に算定することが困難であること、また当社グループを取り巻く環境の変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについて、信頼性の高い数値の算定が困難なため、業績予想は非開示とさせていただきます。なお、今後の進捗を踏まえ、算定が可能になり次第速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	896,876	988,716
売掛金	526,949	394,455
商品及び製品	45,107	40,243
仕掛品	10,894	16,929
原材料及び貯蔵品	69	76
前払費用	16,652	21,559
未収入金	26,544	21,319
その他	10,357	10,666
貸倒引当金	△19,969	△19,974
流動資産合計	1,513,482	1,473,993
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,358	1,335
工具、器具及び備品（純額）	2,532	2,851
有形固定資産合計	3,890	4,187
無形固定資産		
ソフトウェア	1,200	850
その他無形固定資産	16,000	15,000
のれん	51,861	46,297
無形固定資産合計	69,062	62,147
投資その他の資産		
敷金及び保証金	45,897	45,643
繰延税金資産	44,524	44,524
その他	12,859	12,770
投資その他の資産合計	103,280	102,938
固定資産合計	176,233	169,274
資産合計	1,689,716	1,643,267

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	153,721	175,286
短期借入金	286,250	247,917
1年内返済予定の長期借入金	44,987	43,613
未払金	153,134	105,482
未払費用	12,094	6,783
未払法人税等	13,987	167
未払消費税等	23,943	16,090
前受金	11,463	26,849
預り金	9,949	21,306
賞与引当金	11,896	20,872
情報利用料引当金	3,590	3,299
返品調整引当金	26,217	26,568
その他	—	0
流動負債合計	751,236	694,236
固定負債		
長期借入金	175,031	161,987
退職給付に係る負債	—	—
長期末払金	4,515	4,515
固定負債合計	179,546	166,502
負債合計	930,783	860,738
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,461,292	1,461,292
資本剰余金	1,460,145	1,460,145
利益剰余金	△2,162,532	△2,138,936
自己株式	△117	△117
株主資本合計	758,787	782,382
新株予約権	145	145
純資産合計	758,932	782,528
負債純資産合計	1,689,716	1,643,267

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	587,599	611,289
売上原価	257,379	262,177
売上総利益	330,220	349,111
販売費及び一般管理費	332,580	323,403
営業利益又は営業損失(△)	△2,359	25,708
営業外収益		
受取利息	1	3
受取保険金	1,661	-
助成金収入	-	405
その他	77	147
営業外収益合計	1,740	556
営業外費用		
支払利息	3,321	2,405
新株予約権発行費	2,200	-
その他	295	95
営業外費用合計	5,816	2,501
経常利益又は経常損失(△)	△6,436	23,763
特別損失		
店舗休止損失	11,793	-
特別損失合計	11,793	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,230	23,763
法人税、住民税及び事業税	2,203	167
法人税等合計	2,203	167
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,433	23,595
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,433	23,595



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20,433	23,595
四半期包括利益	△20,433	23,595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,433	23,595

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。